

長崎の活動を報告 =国労九州本部拡大委員会= 長崎支社との交渉や 組織拡大の取り組みなど

2月5日、「ウェル戸畑」にて、国労九州本部拡大委員会が開催されました。

前段に、平和・人権北九州共闘センター議長の元国労闘争団の竹内俊一さんを講師に招き、テーマ「平和憲法を考える」労働講座で学習をし、昼食後に拡大委員会が開催されました。

議長に博多地区本部(森永委員)を選出し、全委員(13人)から職場実態や組織拡大の取り組み等の発言がされました。長崎からは、御所委員が長崎での支社交渉の報告と、組織拡大に向けたレクリエーションの取り組み報告がされました。

岩元書記長による書記長集約を受けて、最後に千々岩委員長が2019年春闘勝利と組織拡大に向けて、力強い団結ガンバローを全体で確認して閉会した。(豊田)



【組織拡大に向けた取り組みを報告する御所委員】



【組合員集会で集約、1月15日、長崎事務所】

長崎支社と交渉 2019年3月 一部列車の時刻修正 組合員集会で要求集約

長崎地区本部

長崎地区本部は2月4日、「2019年3月一部列車の時刻修正等に伴う要求について」(国労長崎申1号)の交渉を長崎支社で行った。組合側の委員は、豊田、上之濱、御所、島田、岩崎、宇都宮の各地区本部役員。

に留まった理由、列車の運行に関する問題、委託駅の営業時間の問題、ホームの安全問題など共通8項目。無人駅の特改実績や運賃ほ脱、大村線の遅延放送の点検結果や雑音対策について、竹松駅の設備や安全問題、諫早駅ホームの鳩の糞対策など駅関係6項目。前泊・再度乗務の見直しについて、仕業・行路の作成上の問題と食事時間について、乗継箇所や乗泊の設備に関する問題など運転士・車掌共通7項目。行路作成に関する問題、ワンマン列車のドア扱いに関する問題、仕業内の作業に関する問題、車両の設備に関する問題など運転士関係15項目。行路内での休憩時間や食事時間・労働条件について、接続表の表記の問題、スマートデバイスでの閲覧に関する事項、乗泊や詰所の設備など車掌7項目の全45項目。(米満)